

# 上小だより



大和市立

上和田小学校

KAMIWADA ELEMENTARY SCHOOL

〒242-0014 大和市上和田2695番地

TEL 046-267-3352

令和8(2026)年4月30日

-5月号-

## 自主性と主体性について

こうちょう  
校長

校庭の木々が鮮やかな緑に染まり、さわやかな風が吹き抜ける季節となりました。たくさんの鳥が校庭に飛んできて、校庭の芝生をつついていきます。新しい学年がスタートして早いもので一ヶ月が過ぎ、明日から5月になります。子どもたちは新しいクラスや担任にも少しずつ慣れてきた様子が見られます。

以前からさまざまな場面で子どもたちが自ら考え、進んで行動することは大切だと言われてきました。

そこで似たような印象で使われるのが「自主性」と「主体性」という言葉です。似ているようで違いがあります。

「自主性」とは、決められたことを率先して行う力です。「やるべきことが決まっている状況で、人から言われる前に自分から動くこと」を指します。具体例として、「朝、言われなくても宿題を提出する」「係の仕事を忘れずに行う」「廊下を静かに歩くという決まりを守る」ことなどです。学校生活の基礎となる力であり、集団の中で責任を持って役割を果たすためには大切なことです。

「主体性」とは、何をすべきか自ら考え判断し、行動する力です。主体性は、自主性からさらに一歩踏み込み、「何をするか、どうすればより良くなるかを自分で考え、判断し、行動すること」を言います。具体例として、「クラスを楽しくするために、自分たちで新しい遊びを企画する」「困っている友達を見て、自分に何ができるか考えて声をかける」「興味を持ったことを自ら深く調べる」ことなどです。答えが一つではない課題に対して、自分なりの目的を持って向き合う姿勢です。

「自主的」であることも素晴らしいことですが、決められたことを越えて、自分で考え、自律的に行動する「主体性」は、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために非常に重要な力となります。

学校では、子どもたちが試行錯誤し、自分の意思で一歩を踏み出せるよう、学年に応じて子どもたちを見守り、考えた行動をほめ、支援していきたいと考えています。ご家庭でも「どんなことを自分で考えてやってみた？」といった声掛けを通して、お子様の主体的な育ちを共に支えていただければ幸いです。

